

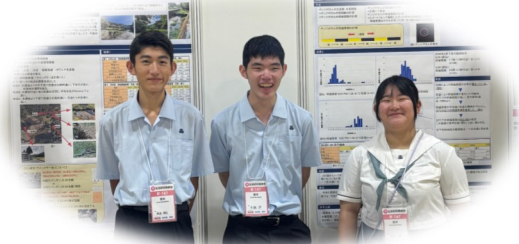


スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

神戸で8月6・7日に開催されたSSH生徒研究発表会に参加してきました。

8月5～7日の2泊3日で、神戸で毎年開催されているスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に参加してきました。

これは、全国のスーパーサイエンスハイスクール指定校が集い、発表を行う大きなイベントです。

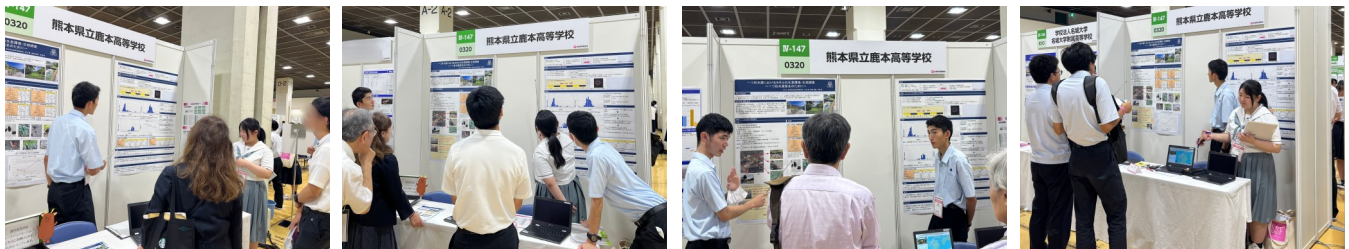


本校からは、3年生3人、左から福島さん、守瀬さん、池永さんが

「一つ目水源におけるホタルの生息環境・生態調査 ～一つ目水源保全のために～」

というテーマで発表を行いました。

また、2年生からも3人が見学者として参加し、2日間通して興味のあるポスターに足を運んで発表を見たり質問したりと積極的に学びを深めていました。これからの研究のモチベーションも高まったようでした。



どの研究内容もレベルが高いことはもちろんですが、ポスターのまとめ方やデザイン、聴衆を意識した発表の仕方や堂々とした質疑応答のやりとりなど、さまざまな面で「すごい！」と思う瞬間がありました。

数学・情報分野だけでなく、生物や地学などの分野においてもAIを活用したり、プログラミングを組んでシミュレーションをしたりしている研究が目立つ一方で、小学生の頃から毎日1時間ツバメの観察を続けてきた生徒さんの膨大なデータに基づく研究など、実際に足を運んで実験・観察をしたという研究も、研究の本質についているものとして変わらず輝いていました。

どの研究においてもどの学校においても共通していると感じたことは、どの生徒さんも謙虚でありながらも自信に満ち溢れており、何より研究を楽しんできたのだろうと感じるイキイキとした表情をしていたことでした。

今回発表をした本校の3人も堂々とやりとりをしており、大変頼もしく感じました。2年生もそんな3年生の姿、他校の生徒さんの姿を見て、大いに刺激を受けているようでした。

今回参加した6人だけでなく、本校の生徒全員が今後も課題研究を行う中で、発表会に参加していた生徒さんたちのようにイキイキとしていける体験を積んでいってほしいと思います。

